

研究名：小児における末梢静脈留置カテーテルが関連する医療関連機器 圧迫創傷の実態

1．研究の目的

小児における末梢静脈留置カテーテルが関連する医療関連機器圧迫創傷の実態を明らかにすることです。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて2018年12月～2021年11月までに末梢静脈留置カテーテルが関連した医療関連機器圧迫創傷を発生した16歳未満の患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月31日

研究方法：末梢静脈留置カテーテルが関連する医療関連機器圧迫創傷の発生状況について診療記録から後方視的に調査します。小児における発生の特徴を分析し、医療関連機器圧迫創傷を予防する方法を検討します。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、基礎疾患、医療関連機器圧迫創傷を発見したタイミング、医療関連機器圧迫創傷の深達度（NPUAP）、医療関連機器圧迫創傷の画像、医療関連機器圧迫創傷の発生部位、医療関連機器圧迫創傷の発生を報告した部署、末梢静脈カテーテルを留置した部署、末梢静脈カテーテルの留置期間 等。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守されます。**

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年5月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 看護部・外来 奥田裕美

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7162）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 看護部・外来 奥田裕美